



東北大学  
TOHOKU UNIVERSITY



Press Release

令和3年1月7日

報道機関 各位

東北大学災害科学国際研究所  
多賀城市

## 「かたりつぎ～朗読と音楽の集い～」開催のお知らせ

このたび、東北大学災害科学国際研究所・多賀城市は、国内外の防災・減災意識向上と震災教訓の伝承を目的に、「東日本大震災アーカイブ 語り部シンポジウム かたりつぎ～朗読と音楽の集い～」を下記のとおり開催いたします。

「かたりつぎ」は、2012年3月から毎年開催し、本年で10回目となります。東北大学アーカイブプロジェクト「みちのく震録伝」で収集した東日本大震災の証言を編集した文章を、俳優の竹下景子さんが音楽とともに朗読します。多くの方に実際の体験が語り継がれ、今後の防災・減災教育につなげることを目的としています。学識者による講演や「みちのく震録伝」の取り組みの報告も行います。

当日はご取材いただき、紙面、番組等で紹介いただきますよう、よろしくお願いいたします。ご取材希望の報道関係者の方は、下記お問い合わせ先までお申し込みください。

### 記

日時:2021年3月6日(土) 14時00分開演(開場13時00分)

会場:多賀城市文化センター 大ホール

(〒985-0873 宮城県多賀城市中央2丁目27-1)

主催:多賀城市、東北大学災害科学国際研究所、かたりつぎ仙台実行委員会

入場料:無料(要申込み・全席自由)

#### 【問い合わせ先】

東北大学災害科学国際研究所 情報管理・社会連携部門 災害アーカイブ研究分野

担当:柴山・小野

電話:022-752-2099(研究室) 090-7663-4102 (小野)

## 「かたりつぎ」～朗読と音楽の集い～

### 【開催概要】

日 時:2021年3月6日(土) 14:00開演(開場 13:00)16:00終演予定  
会 場:多賀城市文化センター(宮城県多賀城市中央2丁目27-1) ※500席  
主 催:多賀城市、東北大学災害科学国際研究所、かたりつぎ仙台実行委員会  
後 援:宮城県、岩手県、福島県、仙台市、石巻市、東松島市、釜石市、遠野市、大槌町、  
浪江町、多賀城市教育委員会、(公財)仙台市市民文化事業団、河北新報社、朝日  
新聞(株)仙台総局、毎日新聞社、(株)読売新聞東北総局、産経新聞社東北総局、  
NHK仙台放送局、tbc東北放送、ミヤギテレビ、仙台放送、KHB東日本放送、エ  
フエム仙台  
協 賛:積水ハウス(株)、凸版印刷(株)、日本総合システム(株)  
入場料:無料・要入場券・自由席  
応募方法:往復ハガキによる応募のあと抽選(詳細はチラシ裏面)  
応募締切:2021年1月31日(日)必着  
抽選結果:2月上旬、返信用ハガキで通知

### 【出演者・プログラム】

(Ⅰ部)挨拶:多賀城市長

講演:志賀野桂一(東北文化学園大学特任教授)

「多賀城の今昔」

報告:柴山明寛(東北大学災害科学国際研究所准教授)

「みちのく震録伝の取り組み」

合奏:塩釜コカリナ合奏団

(Ⅱ部)かたりつぎ

朗読:竹下景子(俳優)

演奏:高塚美奈子(piano)、アナンディン・バヤラト(馬頭琴)

演出:加川広重作・巨大水彩画やアーカイブ写真を使用

証言編集:水月りの

## 【内容概要】

今回は、7名の方々の被災当時から現在までの証言を、竹下景子氏が朗読します。各概要は以下のとおりです。

1. <タイトル>被災地からの SOS ～遠野市の後方支援～（岩手県釜石市 佐々木励さんの証言）

<概要>震災当時、大槌高校の教員だった妻の安否確認のため、内陸を回って大槌高校に向かった。その際、大槌高校の校長から依頼され、遠野市役所に向かい、救援要請を伝えた。この伝令により、遠野市の後方支援活動が開始した。遠野市では、東日本大震災以前から、三陸沿岸の後方支援拠点整備の構想をまとめ、実際に訓練をしていた。平時からの準備が、災害発生時に生かされた事例である。

2. <タイトル>グリコはみんなの希望です（岩手県釜石市 佐々木絵梨子さんの証言）

<概要>震災当時、大槌高校の教員として避難所運営に携わった。その後の妊娠、出産を通じた生徒との交流について。

3. <タイトル>未来への船出（岩手県釜石市 洞口留伊さんの証言）

<概要>震災時、釜石では子どもたちが率先して迅速に避難し、「釜石の奇跡」と称された。当時、鶴住居小学校の3年生だったが、現在は大学1年生となり、慶應義塾大学で防災を学んでいる。当時の記憶と、未来への思い。

4. <タイトル>別れ道（宮城県東松島市 木村恵子さんの証言）

<概要>震災当時、病気だった夫と避難した様子、その後の別れと、解体した自宅への思い。専業主婦だったが、パソコンスキルを買われ、サポートセンターの仕事に従事できた。今まで、仕事があって救われたと振り返る。現在は、東松島市あおい地区会に勤務している。

5. <タイトル>大堀相馬焼の未来を守る（福島県浪江町 大堀相馬焼松永窯 松永和夫さんの証言）

<概要>原発避難の様子と、伝統工芸である大堀相馬焼の未来への思い。

6. <タイトル>火事場のバカちから（宮城県多賀城市 木村英廣さんの証言）

<概要>多賀城市を襲った津波で九死に一生を得た体験と、それにより得た教訓について。地域コミュニティの大切さと災害への心の備えを、地域活動の主軸としていることにも触れる。

7. <タイトル>泰寛に会いたい（宮城県石巻市 三條すみゑさんの証言）

<概要>震災時、石巻市の大川地区で、津波により三男を亡くした。その時の様子、被災地の状況について。



竹下 景子



アナンディン・  
バヤラト



高塚 美奈子

2021年3月6日〔土〕

開場 13:00 開演 14:00 (終演予定 16:00)

会場 多賀城市文化センター 大ホール

宮城県多賀城市中央2丁目27-1 TEL.022-368-0131

【会場までのアクセス】 JR仙石線・多賀城駅下車(駅より徒歩7分)

【お車でご来場の方へ】 駐車スペースには、限りがございます。

本公演に  
おける  
コロナ対策



通常時より高頻度の  
換気を行います



座席の間隔を  
空けています



すべてのお客様に  
マスク等の着用を  
お願いしています

## 出演 (順不同)

- 〔朗読〕 竹下 景子 (俳優)
- 〔講演〕 志賀野 桂一 (プロデューサー、東北文化学園大学特任教授)  
「多賀城の今昔」
- 〔報告〕 柴山 明寛 (東北大学災害科学国際研究所 准教授)  
「みちのく震録伝の取り組み」
- 〔演奏〕 高塚 美奈子 (ピアノ) / アナンディン・バヤラト (馬頭琴)  
塩釜コカリナ合奏団

お問い合わせ TEL.090-7663-4102 (事務局 平日 9:00~17:00)

主催：多賀城市、東北大学災害科学国際研究所、かたりつぎ仙台実行委員会

協力：復興支援コンサート実行委員会(神戸)

後援：宮城県、岩手県、福島県、仙台市、石巻市、東松島市、釜石市、遠野市、大槌町、浪江町、多賀城市教育委員会、(公財)仙台市市民文化事業団

河北新報社、毎日新聞仙台支局、産経新聞社東北総局、朝日新聞仙台総局、読売新聞東北総局、NHK仙台放送局、tbc東北放送、ミヤギテレビ、仙台放送、KHB東日本放送、エフエム仙台

協賛：積水ハウス(株)、凸版印刷(株)、日本総合システム(株)

# かたりつぎ

朗読と音楽の集い

東日本の語りつぐ記憶

記憶の通い合いは「心」を育てる

あの時、こうだったよね

ともに何かを想起し続ける行為は、次代への伝承になる

あれから10年、今、何を思いますか。

入場無料・要入場券 全席自由

大ホール1120席を入場制限で500名限定

\*未就学児の入場はできません。

\*往復ハガキで応募の上、当選ハガキが必要です。詳しくは裏面をご覧ください。

\*コロナの感染状況によっては無観客公演となる場合もあります。予めご了承ください。

ライブ中継 13:55~ (当日のみ中継の予定)

中継URLは「みちのく震録伝HP」にて2021年3月1日にお知らせします。

<http://www.shinrokuden.irides.tohoku.ac.jp/>

(右のQRコードからもアクセスできます)



## 七人の記憶

- 被災地からのSOS～遠野市の後方支援～ (岩手県釜石市 佐々木勲さん)
- グリコはみんなの希望です (岩手県釜石市 佐々木絵梨子さん)
- 未来への船出 (岩手県釜石市 洞口留伊さん)
- 別れ道 (宮城県東松島市 木村恵子さん)
- 大堀相馬焼の未来を守る (福島県浪江町 松永和夫さん)
- 火事場のバカちから (宮城県多賀城市 木村英廣さん)
- 泰寛に会いたい (宮城県石巻市 三條すみみさん)

# かたりつぎ ~朗読と音楽の集い~

## 竹下 景子

俳優、名古屋市出身。東京女子大学卒業。NHK「中学生群像」出演を経て、1973年NHK銀河テレビ小説「波の塔」で本格デビュー。テレビ・映画・舞台への出演の他、2005年日本国際博覧会「愛・地球博」日本館総館長を務めるなど幅広く活動。1999年より14年間にわたり阪神淡路大震災復興支援のメモリアルコンサートに参加。2012年3月からは東北の「かたりつぎ 朗読と音楽の集い」に参加し、今年10回目となる。

## 志賀野 桂一

プロデューサー・演出家 / 東北文化学園大学特任教授、多賀城市文化創造推進アドバイザー、東北文化創造研究所長。仙台市役所で多くの文化事業を手がけ、宮城大学、東北大学、東北文化学園大学、東北芸術工科大学など教育機関の兼職を経て白河文化交流館コミネスの初代館長を務める。文化芸術に関する政策から実務まで幅広い経験と実績で、東北各都市の文化創造の支援を行っている。文化による心の震災復興活動のほか、各種文化催事、国際音楽祭の企画、地域版オペラ「魔笛」、「スペースオペラ KEGON」、「多賀・光の多面体」、〈楽劇〉「影向のポレロ」など数多くの舞台制作で専門家の評価を得ている。著作では「文化まちデザイン論」、「まちづくりと舞台制作」、「公共ホール論」ほか多数。



## 柴山 明寛

東北大学災害科学国際研究所准教授、博士(建築学)、静岡県出身。2006年工学院大学院建築学専攻博士課程修了。2008年東北大学災害制御研究センター助教を経て、2012年から東北大学災害科学国際研究所災害アーカイブ研究分野准教授。地震災害を建築工学、地震工学地域防災などの様々な視点から防災・減災方法を研究。東日本大震災以降、震災アーカイブプロジェクト「みちのく震録伝」に従事し、震災復興支援、南海トラフの防災対策、災害記録・記憶の伝承に繋げる研究を行っている。



## アナンディン・バヤラト (馬頭琴)

1976年、中国内モンゴル自治区シリンゴル県の遊牧民の家に生まれる。10歳から馬頭琴を学び、16歳でプロの演奏家になる。内モンゴル師範大学芸術学部で馬頭琴を専攻し、内モンゴル歌舞団に参加するなどプロの演奏家として活動を続ける。卒業後、中国各地で演奏活動を行いながら後進の指導に当たり、2000年来日、仙台を拠点に音楽活動を始める。東京池上本門寺での一青窈コンサートに参加。2007年、映画「馬頭琴夜想曲」に出演、劇中の音楽を演奏するなど多方面で活躍している。

## 高塚 美奈子 (ピアノ)

宮城学院女子大学音楽科卒業、同研究科修了。野沢真弓、林秀光の各氏に師事。自身のプロデュースによる室内楽シリーズ「メチエ」を主宰。プロオーケストラ首席奏者らによるトランペットアンサンブルThe Mostとの共演や、内モンゴル歌手イリナ・ボルジギントの共演など、アンサンブルにおいて定評がある。東日本大震災復興「かたりつぎ」にて俳優・竹下景子と共演。そのほか音楽劇「光の多面体」、「恋歌舞SO-MON」などの音楽監修、コンクールの審査員など多方面で活躍。現在、東北文化学園大学特任教授、宮城学院女子大学など非常勤講師。日本演奏連盟会員、PTNA正会員。

## 藤野 準 (塩釜コカリナ合奏団 代表)

大阪出身、宮城教育大学卒業。大和町立吉田小学校校長。震災当時は松島第五小学校の教頭として、避難所対応などを行う。1996年、石巻で開かれた黒坂黒太郎氏のミニコンサートでコカリナと出会った。日本コカリナ協会認定・演奏技能1級。コカリナ演奏のほか、仙台・岩沼・塩釜のサークルで指導を行う。



## 塩釜コカリナ合奏団

2006年、塩釜市公民館のコカリナ講座受講生が中心となって発足。現在、24名の団員で活動している。2007年、生涯学習施設「ふれあいエス塩釜」に完成したツリーハウスの披露式で演奏を初披露した。2016年には、塩釜マリゲートで10周年ソロコンサートを開き、とっておきの音楽祭や、みやぎコカリナフェスティバルに参加。また、鹽釜神社をはじめとする地域行事で活動する他、老人福祉施設でも演奏を行っている。2020年には、多賀城市文化センター主催の「コンサートで避難訓練2020」に出演した。



司会 阿部 未来 (フリーアナウンサー) | 舞台監督 白津 守康 | 演出 志賀野 桂一 | 証言編集 水月 りの (詩人) | 画像協力 加川 広重 (画家)

## 応募方法

抽選500名様

締切：2021年1月31日(日)必着

### 往復はがきにて応募ください

右記のように、往復はがきは1人1枚をご使用ください。ご家族で申し込まれる方も1人1枚でお申し込みください。

抽選結果は、2月上旬に返信はがきでお知らせします。

ハガキ1枚につき1名分の応募が可能。複数人でご来場の場合、人数分の往復はがきが必要です。

|                      |                     |                                 |                     |                     |                                 |
|----------------------|---------------------|---------------------------------|---------------------|---------------------|---------------------------------|
| 切手<br>63             | — 往信 —<br>〒980-8799 | ①氏名<br>②住所<br>③必ず連絡が<br>取れる電話番号 | 切手<br>63            | — 返信 —<br>〒□□□-□□□□ | ①氏名<br>②住所<br>③必ず連絡が<br>取れる電話番号 |
| 仙台中央郵便局留<br>「かたりつぎ」係 |                     |                                 | あなたのご住所<br>あなたのお名前様 |                     |                                 |
| 往信(おもて)              |                     |                                 | 返信(うら)              |                     |                                 |
| 返信(うら)               |                     |                                 | 往信(おもて)             |                     |                                 |
| 往信(うら)               |                     |                                 | 返信(おもて)             |                     |                                 |

※古いハガキをご利用の方は往復はがきの料金不足にご注意ください。 ※コロナの感染状況によっては県外からの入場をお断りすることがございます。